



宝永小だより

No.18
福井市宝永小学校
令和7年12月2日

学校教育目標:ひとり立ちできる子～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

1年生 国際理解「おいしい食べ方」 11月4日(火)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、福井県国際理解教育研究協議会(FIAT)の方をお招きして、子どもたちは異文化理解・国際理解について学習しました。今回は、ゲストティーチャーがマレーシアでの在外教育施設派遣の経験を生かし、マレーシアの生活や文化等を紹介しました。子どもたちはイスラム教寺院(モスク)の写真を見ながら、国民の多くがイスラム教徒であり、イスラム教の習慣が生活に根付いていることを知りました。特に、イスラム教寺院(モスク)を訪れる際は、日本人であっても肌の露出を控えた服装を心がけ、帽子やサングラスは外す必要があることも理解しました。その後、マレーシアを含む4つの国々の食生活や食文化がわかる写真が提示されました。子どもたちは3人または4人一グループで、写真に写っている食材は何か、どのような料理が食べられているのか、どのような食べ方をしているのか等の気付いたことを伝え合いました。肉や魚、野菜に果物など豊富な食材が使われていること、焼き物や煮物、スープやサラダ、パンやご飯など豊富な種類があること、食べ方も長いはし、フォークとナイフやスプーンを使ったり、手で食べたりしていることなど、どのグループも次々と気付いたことを出し合っていました。しばらくすると、学級全体で共有が始まり、グループ活動では気付かなかった内容を知ることもできたようです。子どもたちは、世界の国々の生活や文化が異なることを実感し、どの国の人々もその国の料理を楽しみ、おいしく食べていることへの理解を深めました。今後、今回の授業を生かして、子どもたちは物事を広い視野で見て捉える力をさらに育んでいってほしいと思います。



＜写真から食生活や食文化を探す様子＞

6年生 福井市内の歴史探訪を楽しむ 11月5日(水)

子どもたちは総合的な学習の時間

に「ふるさと福井の魅力を見つけ、伝えよう」という学習活動を続けています。今回はその一環として、福井市内の歴史探検に出かけました。Aコースは、佐佳枝廻社→福井神社(松平春嶽像)→福井城址(結城秀康像)→岡田啓介像→笠原白翁像→養浩館庭園の順で、Bコースは、由利公正広場(由利公正像)→左内公園(橋本左内像)→橋曜覧記念文学館→グリフィス記念館→日下部太郎・グリフィス像→北の庄城址公園(柴田勝家像)の順で、フィールドワークを実施しました。子どもたちは、この日、公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会ボランティア「語り部ふくい」の方と共に活動をして、その先々で語り部さんの説明を熱心に聞きながらメモを取り、史跡やゆかりの人物について理解を深めました。今後、子どもたちは追加でフィールドワークを行ったり、ゲストティーチャーを教室に招いて話を聞いたりして情報を収集した上で、どのようにまとめるのか、そして、どのようにまとめることを発信していくのかを学級全体で検討し、その学習活動を進めていく予定です。福井市や宝永地区に出かけていって学んでいる子どもたちが、どのようなアイデアを出してくるのか、楽しみです。



＜A班(左)とB班(右)の様子＞

就学時健康診断 39名が入学準備に 11月6日(木)

令和8年度入学予定児童は6年生の校内引率のもと、内科・歯科検診、身体測定、視力・聴力検査、知能検査などを受けました。その間、保護者の皆様には入学説明会を実施し、社会教育指導員の〇〇〇〇様の子育て講座「小学校入学、環境の変化に寄り添うコツ 伝えます!～大人の小さな工夫が、子供の不安をやわらげ子供を笑顔に変えることができるかも?～」を開催しました。準備を整えて、入学式の日に、再び、お会いできることを楽しみにしています。

4年生 素晴らしい伝統的工芸品に感動 11月7日(金)



＜キーホルダー作り体験＞

国語科「工芸品のみりょくを伝えよう」の学習の一環として、子どもたちは、越前市にある「タケフナイフビレッジ」と「越前和紙の里」へ行き、国の伝統的工芸品として指定されている越前打刃物と越前和紙について学びました。

「タケフナイフビレッジ」では、越前打刃物の歴史の説明を聴き、打刃物を作る工場を見学しました。子どもたちは職人の鍛冶や研ぎの作業や、火花が飛び交う様子を間近で見ることができました。そして、メタルキーホルダー作りを体験しました。



＜和紙作り体験＞

て、自ら和紙を漉き、オリジナルの飾り付けをして、和紙作りの楽しさを体験しました。また、「卯立の工芸館」では原料づくり・紙漉き・乾燥など、和紙ができあがるまでの一連の作業を見ることができました。さらに、「紙の文化博物館」では越前和紙の発祥や歴史について学びました。今回の校外学習で子どもたちは、伝統的工芸品の良さを知り、伝統文化に対する意識が高まり、理解を深めることができました。

6年生 1年生と一緒に楽しく遊ぶ 11月7日(金)



＜計画した遊びを互いに楽しむ様子＞

国語科「みんなで楽しく過ごすために」の学習の一環として、6年生の子どもたちは、「1年生と一緒に楽しく遊ぶ」ことを話題とし、「1年生との交流を通して、お互いが楽しみ、仲が深まる遊びを考える」という目的でグループごとに話し合い、自分の立場や意図を明確にし、見通しをもちながら考えをまとめていきました。この日は、ただ話し合うだけで終えるのではなく、実際に1年生と交流活動を行うことで、話し合ったことと実際に行った活動を振り返ることにしました。

どのグループも、6年生は1年生が楽しそうに遊んでいるかを気にかけながら、計画していた「フルーツバスケット」や「猛獣狩りに行こうよ」、「ドッジボール」などの遊びを一緒に行いました。活動している様子を見守りましたが、今回の目的である「1年生との遊びの交流を通して、お互いが楽しみ、仲を深める」ことは十分に達成できたと、子どもたちの表情から感じました。

2年生 ドキドキ・ワクワク「町たんけん」パート2 11月10日(月)

2回目の町探検は、7

つのグループに分かれて出かけました。探検先は、ひびき整骨院・御素麺屋・宝永郵便局・つるきそば・坪田こんにゃく商店・千福寺・片山ピアノ・大吉餅・どらごんぶっくす・エンゼル薬局・きものギャラリー本嶋・養浩館庭園・フラワーカドヤ・わがや・果秀高井屋・神明神社・お茶の大三・福井市立郷土歴史博物館・ふくおか・宝永旅館です。どのグループも、3ヵ所ずつ探検しました。探検先には事前に質問内容をお伝えし、それに答えていただくことができました。また、どの探検先でも、日頃見られないものを見せていただいたり、貴重な体験をさせていただいたり、興味深い話を聞いていただいたりして、子どもたちは大変満足して帰校しました。

宝永地区では、様々な施設や店舗が本校の子どもたちを受け入れてくださり、大変ありがとうございます。今後も、宝永地区の良さを発見し、地域の皆様と関わることを通して、地域への愛着を深めていってほしいと願っています。



＜探検先で質問をする子どもたち＞

各施設・店舗の皆様、付き添いをしてくださった保護者の皆様、お忙しい中、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

*「子育て講座」の中で、「子供の自己肯定感が高まるように声かけを工夫しよう」という話がありました。特に「ほめる」ワンポイントとして、Youメッセージではなく、Iメッセージで伝えることを大事にしてほしい、ということでした。例えば、「(あなたは)お手伝いをして偉いね」というYouメッセージではなく、「(私は~思う)お手伝いをしてくれて助かったよ。ありがとう」というIメッセージで伝えるそうです。長いようで短い子育て期間…。子どもたちの笑顔のために、お子様との時間を大事にしていただきたいと思います。そして、保護者の皆様も笑顔で過ごしていただけることを願っています。

*11月9日(日)に、PTA環境・旗持ち係の皆様の計画と運営で、PTA環境整備作業が実施されました。多くの保護者の皆様と児童の皆さんにご協力をいただきました。お陰様で、普段、子どもたちでは掃除ができないところや、子どもたちの力ではきれいにすることが難しいところが、大変きれいになりました。子どもたちはいつも以上に、気持ちよく学校生活を送ることができます。お忙しいところ、休日にもかかわらずご参加いただき、誠にありがとうございました。